

科目名	ビジネスマナーⅠ		単位数	1	科目コード			
授業形態	演習		時間数	30	開設期	1年次		
受講条件			開設時期	1 前	教員実務経験対象	有		
授業概要 （目的、 目標とする資格・検定 等）	・接遇の心構えをふまえて、言葉遣い、人格のマナー等社会人としての基礎の習得を指導します。 ・敬語、ビジネス電話応対、手紙の書き方、Eメール送信の基礎を指導します。							
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上での心構え・ビジネスマナーを習得する							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	教本（実践ビジネスマナー）、電話応対模擬機材、便せん、封筒、切手							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解							
☑ 思考・判断の観点	社会人として常識的な行動・言動を習得する							
☑ 関心・意欲の観点	物事に積極的に取り組む意欲を養う							
☑ 態度の観点	社会人としてふさわしい言動・身だしなみを身につける							
☑ 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める							
授業計画（全体）								
教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを繰り返させて授業を行います。 特に電話応対は模擬応対機を使用し、実務に即した応対を指導します。 社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導していきます。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	第1章 社会人としての心構え 1（接遇の基本理念・ホスピタリティ・CS）							
3～4	第1章 社会人としての心構え 2（報告・連絡・相談）， 3							
5～6	第3章 言葉遣いの基本 1（日本語の特性、接客8大用語、クッション言葉）							
7～8	第3章 言葉遣いの基本 2							
9～10	第3章 言葉遣いの基本 3							
11～12	手紙の書き方 お礼状・お詫び状							
13～14	第5章 電話応対 1， 2 資料編1発声練習、2滑舌の練習							
15～16	第5章 電話応対 2，ロールプレイング3							
17～18	第5章 電話応対 3， 4							
19～20	第5章 電話応対 ロールプレイング4							
21～22	第5章 電話応対 5，ロールプレイング5							
23～24	第5章 電話応対 ケーススタディ 3							
25～26	第5章 電話応対 6，（クレーム対応）							
27～28	第5章 電話応対 6，（Eメール）							
29～30	前期試験実施							
成績評価方法								
1 期末試験（筆記）								
2 小テスト								
3 出席率								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					40	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	江見 恵子			実務経験紹介	A型NTTユーザ協会テレコミュニケーション、講師、山口県電話応対コンクール 審査委員			

科目名	ビジネスマナーⅡ	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年次			
受講条件		開設時期	1 後	教員実務経験対象	有			
授業概要 （目的、 目標とする資格・検定 等）	・来客、訪問のマナーを実践練習を通して習得すべく指導を行います。 ・冠婚葬祭や食事のマナー、ビジネス文書、個人情報保護法についての基礎を指導します。							
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上でのビジネスマナー・社会常識を習得する							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	教本（実践ビジネスマナー）、名刺、湯飲み、茶托、お盆、カップ、ソーサー、割り箸等							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解							
☑ 思考・判断の観点	社会人として常識的な行動・言動を習得する							
☑ 関心・意欲の観点	物事に積極的に取り組む意欲を養う							
☑ 態度の観点	社会人としてふさわしい知識・言動・身だしなみを身につける							
☑ 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める							
授業計画（全体）								
教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを繰り返し交せて授業を行います。 名刺交換の仕方や、応接室や廊下、エレベーターを使用時のロールプレイングも実施します。 社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導していきます。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	第4章 来客応対 1, 2							
3～4	第4章 来客応対 ロールプレイング1							
5～6	第4章 来客応対 4,ロールプレイング2							
7～8	第4章 来客応対 5, ケーススタディ1							
9～10	第4章 来客応対 6							
11～12	第4章 来客応対 7, 9, 1 0							
13～14	第4章 来客応対 8, ケーススタディ2							
15～16	第6章 訪問のマナー1,ロールプレイング6							
17～18	第6章 訪問のマナー2							
19～20	第6章 訪問のマナー ロールプレイング7、名刺							
21～22	第6章 訪問のマナー3, 資料編3							
23～24	資料編4、5							
25～26	ビジネス文書							
27～28	個人情報保護法							
29～30	後期試験実施							
成績評価方法								
1 期末試験（筆記） 2 テスト 3 出席率 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、S（4）：9 0点以上
小テスト	◎	○					40	優、A（3）：8 0点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：7 0点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：6 0点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：5 9点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はG P A点数
担当教員	江見 恵子			実務経験紹介	A型NTTユーザ協会テレコミュニケーション、講師、山口県電話応対コンクール 審査委員			

科目名	電話応対Ⅰ	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年次			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	電話応対の技能を高め、社会に出てすぐに仕事に使える電話応対ができるようにする。☒							
授業の一般目標	電話応対の基礎知識を身につけ、異なる状況での電話応対ができるようになる。							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	知識を身につける							
☑ 思考・判断の観点	状況に応じて応対できるための思考がある。							
☑ 関心・意欲の観点	コンクールの必要性を理解し、関心を持って臨んでいる。							
☑ 態度の観点	社会人として好ましい電話応対ができるよう積極的な姿勢を示している。							
☑ 技能・表現の観点	言葉の選び方、話す早さ、声の高さが電話応対において好ましい表現ができている。							
授業計画（全体）								
もしも検定4級の筆記試験出題内容にを参考にしてプリント資料、過去問題集を中心に学習する。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	マナー①・おじぎ・身だしなみ・立ち居振る舞い							
3～4	マナー②・仕事の基本マナー							
5～6	マナー③・来客と訪問・名刺交換・紹介・席次							
7～8	マナー④・ビジネス文書、FAX、メールの基本							
9～10	マナー⑤・冠婚葬祭・贈答と進物							
11～12	日本語①・敬語の種類と使い分け基礎編							
13～14	日本語②・敬語の種類と使い分け応用編							
15～16	日本語③・話しことば・語彙力							
17～18	日本語④・聴く・伝える							
19～20	電話応対①・電話応対の基本・かけ方、受け方							
21～22	電話応対②・電話の取り次ぎ・電話応対の言葉・伝言メモ							
23～24	電話応対③・クレーム対応・コミュニケーションツール							
25～26	法的知識・個人情報保護法							
27～28	電話校内応対コンクール 練習							
29～30	検定試験ふり返り							
成績評価方法								
1. 期末試験								
2. 授業出席状況								
3. 小テスト								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					40	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	黒瀬 広子		実務経験紹介	A型NTTユーザ協会テレコミュニケーション、講師、山口県電話応対コンクール 審査委員				

科目名	電話応対Ⅱ	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年次			
受講条件		開設時期	1 後	教員実務経験対象	有			
授業概要 （目的、 目標とする資格・検定 等）	目標検定 電話応対校内コンクールに取り組み、電話応対の技能を高め、一般の方と電話応対のレベルをはかる。☑							
授業の一般目標	電話応対校内コンクール 上位入賞							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	知識を身につける							
☑ 思考・判断の観点	状況に応じて応対できるための思考がある。							
☑ 関心・意欲の観点	コンクールの必要性を理解し、関心を持って臨んでいる。							
☑ 態度の観点	社会人として好ましい電話応対ができるよう積極的な姿勢を示している。							
☑ 技能・表現の観点	言葉の選び方、話す早さ、声の高さが電話応対において好ましい表現ができている。							
授業計画（全体）								
異なる状況での電話応対に対応できるように、過去の問題に取り組み電話応対に慣れ、求めに応じられるよう言葉づかいの幅を広げ、音声表現を向上させる。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	会話の特性を知る							
3～4	声の印象チェック・印象を変える							
5～6	かけ手・受け手の基本							
7～8	電話応対での言葉遣い							
9～10	感じのより応対（クッション言葉）							
11～12	切るときの基本							
13～14	初めの言葉の基本・応対方法（第一印象チェック）							
15～16	社内電話の応対・違い							
17～18	取り次ぎの応対（会議中・電話中・休暇中 別）							
19～20	取り次ぎの応対（所在不明・電話を直接聞かれた場合							
21～22	困ったときの応対別練習							
23～24	クレーム時の応対							
25～26	実技練習（ロールプレイング）							
27～28	電話校内応対コンクール 練習							
29～30	校内コンクール参加							
成績評価方法								
1. 校内コンクールの成績（定期試験）								
2. 授業出席状況								
3. 小テスト								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		50	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					40	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							30	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習					○		20	未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	黒瀬 広子			実務経験紹介	A型NTTユーザ協会テレコミュニケーション、講師、山口県電話応対コンクール 審査委員			

科目名	パソコンスキルⅠ	単位数	2	科目コード				
授業形態	演習	時間数	60	開設期	1年次			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	-			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	仕事をするうえで必要とされる情報処理活用能力のうち、Wordを利用した文書の作成ができる能力を養う。							
授業の一般目標	1. Wordの機能を使用して適切な文書作成ができる。 2. Wordの機能を。 3. サーティファイ主催Word文書処理技能認定試験 2 級合格							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	Word2024クイックマスター〈基本編〉 Word文書処理技能認定試験 3級問題集（サーティファイ） Word文書処理技能認定試験 1・2級問題集（サーティファイ）							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	文書作成に必要な書式設定等が適切に設定できる							
☑ 思考・判断の観点	Word機能を使用して適切な文書作成ができる							
□ 関心・意欲の観点								
☑ 態度の観点	演習において主体的に不明点を質問・解決しながら課題・問題集に取り組む							
□ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等			授業の記録			
1～2	コンピュータを使用する際の基礎知識							
3～4	文字入力、フォントの編集機能							
5～6	Word基礎知識①							
7～8	Word基礎知識②							
9～10	Word基礎知識③							
11～12	Word基礎知識④							
13～14	Word基礎知識⑤							
15～16	第2部文書作成							
17～18	3 級模擬問題①							
19～20	3 級模擬問題②							
21～22	3 級模擬問題③							
23～24	3 級模擬問題④							
25～26	Word 3 級検定試験							
27～30	2 級実技問題①							
31～34	2 級実技問題②							
35～38	2 級実技問題③							
39～40	2 級実技問題③知識							
41～44	2 級模擬問題①							
45～46	2 級模擬問題②							
47～48	評価テスト							
49～52	検定対策							
53～54	サーティファイWord文書処理技能認定試験 2 級							
55～58	Word活用							
59～60	期末試験							
成績評価方法								
1 小テスト、定期試験（検定試験）、出席率 2 授業態度 3 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					40	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	上原 佑真			実務経験紹介				

科目名	パソコンスキルⅡ	単位数	2	科目コード				
授業形態	演習	時間数	60	開設期	1年次			
受講条件		開設時期	1 後	教員実務経験対象	-			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	仕事をするうえで必要とされる情報処理活用能力のうち、E x c e l を利用した関数やグラフの作成ができる能力を養う。							
授業の一般目標	1．Excelの機能を使用して表計算ができる。 2．関数、複雑なグラフなどExcelの応用した機能を活用した表計算シートの作成できる。 3．サーティファイ主催Excel表計算技能認定試験 2 級							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	Excel2024クイックマスター〈基本編〉 E x c e l 表計算技能認定試験 3級問題集（サーティファイ） E x c e l 表計算技能認定試験 1・2級問題集（サーティファイ） E x c e l 表計算技能認定試験 2級問題集（サーティファイ）							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点	ピボットテーブルや関数を応用した表計算シート、スタイルの定義などを活用した文書を作成することができる							
☐ 思考・判断の観点								
☐ 関心・意欲の観点								
☒ 態度の観点	演習において主体的に不明点を質問・解決しながら課題・問題集に取り組む							
☐ 技能・表現の観点	Excel・Wordの機能を応用し、関数や複雑なグラフを利用した表計算シート、複数ページの文書が作成できる							
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	コンピュータを使用する際の基礎知識							
3～4	文字入力、フォントの編集機能							
5～6	Excel基礎知識①							
7～8	Excel基礎知識②							
9～10	Excel基礎知識③							
11～12	3 級実技問題①							
13～14	3 級実技問題②							
15～16	3 級実技問題③							
17～18	3 級模擬問題①							
19～20	3 級模擬問題②							
21～22	3 級模擬問題③							
23～24	3 級模擬問題④							
25～26	Excel基礎知識④							
27～28	Excel基礎知識⑤							
29～30	Excel基礎知識⑥							
31～32	2 級実技問題①							
33～34	2 級実技問題②							
35～36	2 級実技問題③							
37～38	2 級実技問題④							
39～40	2 級実技問題⑤							
41～42	評価テスト							
43～44	知識①							
45～46	知識②							
47～48	2 級模擬問題①							
49～50	2 級模擬問題②							
51～52	2 級模擬問題（知識）							
53～54	2 級模擬問題③							
55～56	2 級模擬問題④							
57～58	サーティファイExcel表計算技能認定試験 2 級							
59～60	期末試験							
成績評価方法								
① 小テスト、定期試験（検定試験）、出席率								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		50	秀、S（4）：90点以上
小テスト	○						評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							20	良、B（2）：70点以上
授業態度				○			評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習	○				○		30	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	上原 佑真		実務経験紹介					

科目名	調剤事務	単位数	3	科目コード			
授業形態	講義	時間数	90	開設期	1年次		
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	-		
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	合格者に付与する称号【調剤事務管理士】 院外薬局、院内薬局における、調剤事務管理事務業務や窓口業務など、「調剤薬局の事務職」として求められる能力を備えていることを証明する資格です。この科目は「調剤薬局の事務職」として就職する際に、基礎となる科目となります。しっかり出席して身に付けましょう。						
授業の一般目標	調剤事務管理事務業に関する知識を有することができる						
受講条件	調剤事務講座テキスト1、2 トレーニングブック、資料ブック、模擬問題集						
事前学習について（テキスト・参考書等）							
授業の到達目標							
☑ 知識・理解の観点	医療機関の概要・医療保険のしくみが身につく、薬局の基礎知識、調剤報酬算定など窓口業務ができる						
☑ 思考・判断の観点	患者様に寄り添い行動できる、薬歴管理業務や調剤録診療報酬明細書の点検ができる						
☑ 関心・意欲の観点	日常生活の中で医療分野（調剤薬局）の受付から会計まで、一連の流れにより一層、関心を持つようになる						
☑ 態度の観点	患者接遇（医療機関従事者として必要な資質、ふさわしい身だしなみ、言葉遣いを身に付けることができる）						
☑ 技能・表現の観点	診療報酬明細書の点検や保険請求業務ができる						
授業計画（全体）							
座学を中心に授業をします。接遇、学科、レセプト点検など3部門に分かれて何度も繰り返し指導していきます。 「調剤事務管理士」に合格できるように、試験の傾向と対策踏まえ学習していきます。							
授業計画（授業単位）							
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	調剤事務業務について						
3～4	医療機関と薬局について						
5～6	薬局の基礎知識						
7～8	調剤報酬算定について						
9～10	処方箋の基礎知識						
11～12	薬剤の基礎知識						
13～14	算定の基礎知識						
15～16	調剤報酬の算定について						
17～18	調剤基本料						
19～20	薬剤料						
21～22	特定保健医療材料料						
23～24	薬剤調整料の算定						
25～26	薬剤調剤料の加算、薬学管理料の算定						
27～28	市販薬の薬効について						
29～30	市販薬と医療医薬品						
31～32	薬物治療、薬の作用と適用						
33～34	薬の体内動態、薬の適用						
35～36	レセプト作成1						
37～40	レセプト作成2						
41～44	レセプト作成3						
45～46	レセプト作成4						
47～48	レセプト作成5						
49 50	過去問題1						
51 52	過去問題1 解説						
53～54	過去問題2						
55～56	過去問題2 解説						
57～58	過去問題3						
59～60	過去問題3 解説						
61～62	過去問題4						
63～64	過去問題4 解説						
65～66	過去問題5						
67～68	過去問題5 解説						
69～70	レセプト作成6						
71～72	レセプト作成7						
73～74	レセプト作成8						
75～76	レセプト作成9						
77～78	レセプト作成10						
79～80	レセプト作成11						
81～82	調剤事務業務の流れ						
83～86	調剤薬局の業務(模擬応対)						
87～88	レセプト復習						
89～90	期末試験						
成績評価方法							
1 模擬試験 2 期末テスト（実技・筆記）を行う 3 検定試験 4							
検定試験	◎	○				30	秀、S（4）：90点以上
課題・レポート	◎	○			○	10	優、A（3）：80点以上
定期試験	◎	○			○	60	良、B（2）：70点以上
授業態度						評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品						評価なし	不可、E（0）：59点未満
出席						評価なし	未修得、履修放棄、F
出席						欠席条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	阿屋 ちひろ		実務経験紹介				

科目名	ホスピタルコンシェルジュ		単位数	2	科目コード			
授業形態	演習		時間数	60	開設期	1年次		
受講条件			開設時期	1 通年	教員実務経験対象	-		
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	病院、診療所、薬局で必要とされる医療事務員の資質についての理解を深める。患者様の気持ちに寄り添った応対ができるよう適切な言葉遣いを学び、身につける。ホスピタルコンシェルジュ検定試験3級取得を目指します。							
授業の一般目標	医療事務員にふさわしい資質について考える 窓口においてほしい医療事務スタッフになるために							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	ホスピタルコンシェルジュ1、2							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	医療事務の心構えとマナーが理解できる							
☑ 思考・判断の観点	好感・安心感を高めるコミュニケーションが取れる							
☑ 関心・意欲の観点	医療事務に特化したコミュニケーション能力を学習する							
☑ 態度の観点	体的に不明な点を質問・解決しながら授業に参加する							
☑ 技能・表現の観点	ケースに応じた対応ができる							
授業計画（全体）								
座学を中心に授業をします。授遇、学科、実技など3部門に分かれて何度も繰り返し指導していきます。「ホスピタルコンシェルジュ 3級」に合格できるように、試験の傾向と対策踏まえ学習していきます。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	医療事務の心構えとマナー							
3～4	患者様ごとの注意点(高齢者・子ども)							
5～8	受付・会計窓口での注意点							
9～10	患者様ごとの注意点(外国人・障がい者)							
11～18	クレーム対応							
19～22	患者様の状況							
23～24	模擬試験、解答解説①							
25～26	模擬試験、解答解説②							
27～28	模擬試験、解答解説③							
29～30	模擬試験、解答解説④							
31～36	ケーススタディ①							
37～40	ケーススタディ②							
41～44	ケーススタディ③							
45～46	受付・会計窓口での応対(グループワーク)							
47～48	患者様の状況に応じた応対(グループワーク)							
49～50	ケーススタディ④							
51～52	ケーススタディ⑤							
53～54	ケーススタディ⑥							
55～56	ケーススタディ⑦							
57～58	ケーススタディ⑧							
59～60	期末試験							
成績評価方法								
1 定期試験 2 実技試験 3 課題								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、S（4）：90点以上
実技試験	◎	○		◎	◎		30	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート			◎				10	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格要件	（ ）内はGPA点数
担当教員	岡屋 ちひろ			実務経験紹介				

科目名	秘書実務Ⅰ	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年次			
受講条件		開設時期	1 後	教員実務経験対象				
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	初級秘書として要求される資質とは何かがわかる。 初級秘書の業務がわかり、仕事の進め方を理解する。 マーケティング、会社活動、印鑑、税に関する用語（秘書検定３級出題範囲のもの）と意味が分かる。 言葉遣い、来客対応、贈答マナーを身につける。 医療機関における患者対応、マナーを身につける。 ビジネス文書の管理のポイントがわかる。 秘書検定３級の取得を目標とする。							
授業の一般目標	秘書検定３級合格を目指す							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	秘書検定実問題集　３級							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解							
☑ 思考・判断の観点	社会人として常識的な行動・言動を習得する							
☑ 関心・意欲の観点	物事に積極的に取り組む意欲を養う							
☑ 態度の観点	社会人としてふさわしい言動・身だしなみを身につける							
☑ 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める							
授業計画（全体）								
テキストを中心に講義を展開し、小テストやレポートはさみ習熟度を確認しながら進めていく。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	職業人として必要な自己管理の基本							
3～4	秘書に必要とされる能力							
5～6	組織の中での秘書の役割							
7～8	上司の秘書の良好な関係の築き方							
9～10	マーケティングの関する用語とその意味							
11～12	会社活動、印鑑、税に関する用語とその意味							
13～14	人間関係を良好にする話し方と聞き方							
15～16	基本的な敬語と接遇用語							
17～18	基本的な席次マナー、茶菓接待マナー、見送りマナー							
19～20	基本的な慶弔マナー、贈答マナー							
21～22	会議の際の必要な準備							
23～24	ビジネス文書の種類と書き方、慣用表現							
25～26	秘文書の取り扱い方法							
27～28	郵便の知識と適切な発送方法							
29～30	期末試験							
成績評価方法								
1 期末試験（筆記）と出席率								
2 小テスト								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、S（４）：９０点以上
小テスト	◎	○					40	優、A（３）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（２）：７０点以上
授業態度							評価なし	可、C（１）：６０点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（０）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（　）内はGPA点数
担当教員	池田　美和子			実務経験紹介				

科目名	ビジネス会計Ⅰ		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義		時間数	60	開設期	1年次		
受講条件			開設時期	1 前	教員実務経験対象	-		
授業概要 （目的、 目標とする資格・検定 等）	目標検定【全国経理教育協会 簿記能力検定3級以上】【全国経理教育協会 電卓計算能力検定2級以上】 ビジネスに欠かせない電卓、簿記のスキルを客観的に測定することが可能です。 将来、企業で経理事務を担当しようとしている人には必須の検定試験です。 資格を取得すれば就職の際には心強いスキルとなります。しっかりと出席して身に付けましょう。							
授業の一般目標	電卓の正しい打ち方をマスターできる、小規模株式会社の財務諸表が読むことができるようになる（簿記の一連の流れが把握できるようになる）							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	貸借対照表、損益計算書が作成できる							
☑ 思考・判断の観点	勘定科目が理解でき、仕訳ができるようになる							
☑ 関心・意欲の観点	簿記の一連の流れが理解できるようになり、お金の流れなど関心を持つようになり経済意識を高めることができる。							
☑ 態度の観点	日常生活の中で、財務諸表をもとに主体的に考えることができる							
☑ 技能・表現の観点	正しい電卓の打ち方が習得できる							
授業計画（全体）								
座学を中心に授業をします。電卓、簿記の検定試験取得にむけて何度も繰り返し指導していきます。 【全国経理教育協会】電卓計算能力検定2級以上、簿記能力検定3級以上に合格できるように、試験の傾向と対策踏まえ学習していきます。 ※個々の能力に応じ、受験級もしくは日商簿記受験対策など個別に指導します。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	【電卓】電卓キーの種類と使い方							
3～4	指の分担練習、逆数計算、定数計算、見取算							
5～6	乗算、除算							
7～8	複合算、伝票算							
9～10	電卓計算能力検定検定対策							
11～12	【簿記】簿記とは、仕訳と転記、仕訳帳と総勘定元帳							
13～15	試算表							
16～20	現金と預金、当座預金、三文法、掛け取引、有価証券							
20～24	費用と収益、約束手形、その他の債権債務、株式							
25～30	決算の手続き、精算表、財務諸表							
31～40	試算表、精算表、財務諸表							
41～42	検定対策1問対応							
43～45	検定対策2、4問対応							
46～50	検定対策3問対応							
51～55	検定対策5問対応							
56～60	検定対策							
成績評価方法								
1 小テスト								
2 期末テスト								
3 検定試験（電卓、簿記）								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
提出・課題物	◎						30	秀、S（4）：90点以上
検定試験	◎						20	
小テスト		○						優、A（3）：80点以上
定期試験	◎	○					50	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	上原 佑真		実務経験紹介					

科目名	ビジネス会計Ⅱ		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義		時間数	60	開設期	1年次		
受講条件			開設時期	1 後	教員実務経験対象	-		
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	目標検定【全国経理教育協会 簿記能力検定2級以上】【全国経理教育協会 電卓計算能力検定2級以上】 ビジネスに欠かせない電卓、簿記のスキルを客観的に測定することが可能です。 将来、企業で経理事務を担当しようとしている人には必須の検定試験です。 資格を取得すれば就職の際には心強いスキルとなります。しっかり出席して身に付けましょう。							
授業の一般目標	中規模株式会社の収益費用勘定、決算整理ができ、これによる損益計算書と貸借対照表を作成できる（一般企業の経理担当業務ができる）							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
✔ 知識・理解の観点	貸借対照表、損益計算書が作成できる							
✔ 思考・判断の観点	仕訳や伝票処理ができるようになる							
✔ 関心・意欲の観点	株式会社の経理・財務担当者として、複式簿記の仕組みを理解できるようになり企業会計など関心がもてる							
✔ 態度の観点	日常生活の中で、財務諸表をもとに主体的に考えることができる							
✔ 技能・表現の観点	経理用語が理解できるようになる							
授業計画（全体）								
座学を中心に授業をします。電卓、簿記の検定試験取得にむけて何度も繰り返し指導していきます。 【全国経理教育協会】電卓計算能力検定2級以上、簿記能力検定2級以上に合格できるように、試験の傾向と対策踏まえ学習していきます。 ※個々の能力に応じ、受験級もしくは日商簿記受験対策など個別に指導します。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	商品売買（3級の復習）							
3～4	当座預金とその他の預金、手形の処理							
5～6	手形などの処理							
7～8	有価証券							
9～10	固定資産							
11～12	引当金、株式の発行							
13～15	決算の手続き、精算表、財務諸表							
16～20	本支店会計、帳簿、伝票							
20～24	検定対策1 問対応							
25～30	検定対策2、4 問対応							
31～40	検定対策3 問対応							
41～42	検定対策5 問対応							
43～45	検定対策（電卓、簿記）							
46～50	検定対策（電卓、簿記）							
51～55	検定対策（電卓、簿記）							
56～60	検定対策（電卓、簿記）							
成績評価方法								
1 小テスト								
2 期末テスト								
3 検定試験（電卓、簿記）								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
提出・課題物	◎						30	秀、S（4）：90点以上
検定試験（簿記）	◎						20	
小テスト								優、A（3）：80点以上
定期試験	◎	○					50	
授業態度							評価なし	良、B（2）：70点以上
発表・作品							評価なし	
演習							評価なし	可、C（1）：60点以上
出席							欠格条件	
担当教員	上原 佑真			実務経験紹介				

科目名	医療保険	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年次			
受講条件		開設時期	1前	教員実務経験対象	-			
授業概要 （目的、 目標とする資格・検定 等）	医療保険制度の目的を理解し、患者様の加入する社会保険・国民健康保険や公費医療制度について正確な事務処理を行うための知識を身につける							
授業の一般目標	1 医療保険制度の目的を理解する 2 医療保険制度の正確な事務処理能力を身につける							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	調剤事務講座テキスト1、資料ブック							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	保険診療の仕組みや点数計算の根拠を示すことができる。							
☑ 思考・判断の観点	点数計算において、年齢加算の有無を判断する事ができる。							
☑ 関心・意欲の観点	医療機関において自身の診療報酬明細書に関心を持つようになる。							
☑ 態度の観点	医療事務員としての身だしなみや、患者の気持ちに寄り添った丁寧な言葉遣いを身につける事ができる。							
☑ 技能・表現の観点	レセプトコンピュータや診療報酬 点数表を使って点数計算ができる。							
授業計画（全体）								
保険診療の基礎を学びながら、保険証や保険の給付についての知識を身につけていきます。 また、公費や乳幼児医療費等の提出書類や申請先等について知識を身につけていきます。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	医療機関の種類							
3～4	医療保険の仕組みと社保・国保の種類							
5～6	保険証について（マイナ保険証）							
7～8	保険給付について							
9～10	後期高齢者医療保険、保険外併用療養費							
11～12	労災保険・介護保険							
13～14	助成制度							
15～18	公費①							
19～24	公費②							
25～28	公費③							
29～30	期末試験							
成績評価方法								
1 授業態度 2 定期試験 3 課題提出 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					70	秀、S（4）：90点以上
課題提出	◎	○					20	優、A（3）：80点以上
レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度			◎	○			10	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格要件	（ ）内はGPA点数
担当教員	岡屋 ちひろ		実務経験紹介					

科目名	医療コミュニケーションⅠ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		時間数	30	開設期	1年次		
受講条件			開設時期	1前	教員実務経験対象	有		
授業概要 （目的、 目標とする資格・検定 等）	本科目では、医療機関における電話応対に必要な 言葉遣い・応対技術・情報確認能力・ホスピタリティ・共感力 を体系的に身につけることを目的とする。患者や家族、他医療機関、業者など多様な相手に対して、状況に応じた適切なコミュニケーションができる医療事務員を育成する。また、予約受付、問い合わせ対応、調剤薬局との連携、クレーム対応など、医療現場で頻出する電話応対を実践的に学び、現場で即戦力として活躍できる能力を養う。							
授業の一般目標	医療現場の電話応対の基礎理解習することができる。							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	・オリジナルテキスト「医療現場での電話応対」 ・配布プリント（テキスト以外のロープレ台本など）							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	医療現場の電話応対の基礎理解習することができる。							
☑ 思考・判断の観点	内容を聞いた上で予約・変更・キャンセル対応ができる。							
☑ 関心・意欲の観点	総合的な電話応対力の習得ができる。							
☑ 態度の観点	正しい言葉遣いとホスピタリティの実践ができる。							
☑ 技能・表現の観点	調剤薬局・業者・他医療機関との電話対応ができる。							
授業計画（全体）								
医療機関での異なるケースでの電話内容を理解し、相手に情報を伝えられるような技術を身に付けていく。医療事務員としての電話での言葉遣いや心遣いを学ぶ。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	オリエンテーション							
3～4	医療現場での電話応対とは							
5～6	医療機関にかかってくる電話の種類							
7～8	電話応対の6つのポイント							
9～10	ホスピタリティとサービスの違い							
11～12	ホスピタリティを身につける（ロールプレイ）							
13～14	予約電話の基礎							
15～16	実践練習①：予約対応							
17～18	実践練習②：予約対応							
19～20	実践練習③：予約対応							
21～22	実践練習④：キャンセル・変更対応							
23～24	実践練習⑤：キャンセル・変更対応							
25～26	実践練習⑥：キャンセル・変更対応							
27～28	実戦練習⑦：予約表を見ての応対							
29～30	期末試験							
成績評価方法								
1 授業態度 2 定期試験 3 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					70	秀、S（4）：90点以上
課題提出	◎	○					20	優、A（3）：80点以上
レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度			◎	○			10	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格要件	（ ）内はGPA点数
担当教員	黒瀬 広子			実務経験紹介	https://urbanemi.com/			

科目名	医療コミュニケーションⅡ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		時間数	30	開設期	1年次		
受講条件			開設時期	1 後	教員実務経験対象	有		
授業概要 （目的、目標とする資格・検定等）	本科目では、医療機関における電話応対に必要な 言葉遣い・応対技術・情報確認能力・ホスピタリティ・共感力 を体系的に身につけることを目的とする。患者や家族、他医療機関、業者など多様な相手に対して、状況に応じた適切なコミュニケーションができる医療事務員を育成する。また、予約受付、問い合わせ対応、調剤薬局との連携、クレーム対応など、医療現場で頻出する電話応対を実践的に学び、現場で即戦力として活躍できる能力を養う。							
授業の一般目標	医療現場の電話応対の基礎理解習することができる。							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	・オリジナルテキスト「医療現場での電話応対」 ・配布プリント（テキスト以外のロープレ台本など）							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	医療現場の電話応対の基礎理解習することができる。							
☑ 思考・判断の観点	内容を聞いた上で予約・変更・キャンセル対応ができる。							
☑ 関心・意欲の観点	総合的な電話応対力の習得ができる。							
☑ 態度の観点	正しい言葉遣いとホスピタリティの実践ができる。							
☑ 技能・表現の観点	調剤薬局・業者・他医療機関との電話対応ができる。							
授業計画（全体）								
医療機関での異なるケースでの電話内容を理解し、相手に情報を伝えられるような技術を身に付けていく。医療事務員としての電話での言葉遣いや心遣いを学ぶ。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	後期オリエンテーション							
3～4	実践練習⑧：調剤薬局での電話応対①（お薬手帳・飲み合わせ）							
5～6	実践練習⑨：調剤薬局での電話応対②（副作用・忘れ物）							
7～8	医療機関・業者からの電話（新薬案内など）、欠品連絡への対応							
9～10	共感力とは							
11～12	実践練習⑩：共感の言葉を使った応対							
13～14	実践練習⑪：ワクチン予約							
15～16	実践練習⑪：ワクチン予約							
17～18	実践練習⑪：ワクチン予約							
19～20	実践練習⑫：院長宛・業者・薬局から疑義照会・検査結果の問い合わせ・言葉が途切れる電話・間違い電話							
21～22	実践練習⑫：院長宛・業者・薬局から疑義照会・検査結果の問い合わせ・言葉が途切れる電話・間違い電話							
23～24	実践練習⑬：健診予約							
25～26	実践練習⑬：健診予約							
27～28	実践練習⑭：クレーム対応、緊急時の対応							
29～30	期末試験							
成績評価方法								
1 授業態度 2 定期試験 3 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					70	秀、S（4）：90点以上
課題提出	◎	○					20	優、A（3）：80点以上
レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度			◎	○			10	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格要件	（ ）内はGPA点数
担当教員	黒瀬 広子			実務経験紹介	https://urbanemi.com/			

科目名	医療事務（医科）		単位数	6	科目コード			
授業形態	講義		時間数	180	開設期	1年次		
受講条件			開設時期	1 後	教員実務経験対象	-		
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	保険診療の基礎に始まり、患者応対の心得、レセプトの点検などを学びながら医科医療事務管理士技能認定試験の資格取得を目指します。レセプト作成では外来と入院での基本的な算定方法を学びます。レセプト点検は実務でもスピードと正確さが求められます。焦らず丁寧に点数算定をするためにどういった点に注意すれば良いか学びます。							
授業の一般目標	医療機関で受付としての応対や会計での点数計算ができる。							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	医科医療事務講座テキスト1～4、資料ブック							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	保険診療の仕組みや点数計算の根拠を示すことができる。							
☑ 思考・判断の観点	点数計算において、年齢加算の有無を判断する事ができる。							
☑ 関心・意欲の観点	医療機関において自身の診療報酬明細書に関心を持つようになる。							
☑ 態度の観点	医療事務員としての身だしなみや、患者の気持ちに寄り添った丁寧な言葉遣いを身につける事ができる。							
☑ 技能・表現の観点	レセプトコンピュータや診療報酬 点数表を使って点数計算ができる。							
授業計画（全体）								
保険診療の基礎を学びながら、保険証や保険の給付についての知識を身につけていきます。 また、診療科目が複数ある病院や個人病院での業務が異なる点も踏まえながら医療機関についての基礎知識を学びます。 診療報酬算定に必要な知識を単元ごとに学び、様々なカルテから算定できる力を身につけていきます。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	初診料と再診料							
3～10	医学管理等、在宅医療							
11～14	投薬							
15～16	注射							
17～24	注射までのレセプト練習・解説							
25～30	処置							
31～36	処置までのレセプト練習・解説							
37～42	リハビリテーション							
43～50	リハビリまでのレセプト練習・解説							
51～64	検査（検体検査・生体検査）							
65～70	病理診断							
71～72	画像							
73～74	画像までのレセプト練習・解説							
75～84	手術							
85～88	麻酔							
89～92	輸血							
93～98	輸血までのレセプト練習・解説							
99～110	放射線、精神療法							
111～120	外来レセプト演習							
121～124	入院							
125～134	入院レセプト練習・解説							
135～138	放射線、精神療法							
139～150	外来レセプト演習							
151～166	模擬試験①							
167～178	模擬試験②							
179～180	期末試験							
成績評価方法								
1 授業態度 2 定期試験 3 課題提出 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					70	秀、S（4）：90点以上
課題提出	◎	○					20	優、A（3）：80点以上
レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度			◎	○			10	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格要件	（ ）内はGPA点数
担当教員	岡屋 ちひろ			実務経験紹介				

科目名	医療事務コンピュータⅠ	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年次			
受講条件		開設時期	1 後	教員実務経験対象	-			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	病院、診療所で必要とされる医療事務用のソフトの操作方法を身につける。会計時に必要な書類や金額の確認など患者応対に必要な知識を学ぶ。							
授業の一般目標	1. 保険証を理解し、カルテの上書き部分の入力ができる 2. 診療行為の入力や会計についての操作ができる 3. レセプトを作成し点検ができる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	医科医療事務講座 資料ブック							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	保険証を読み取り、受付ができる							
☑ 思考・判断の観点								
☑ 関心・意欲の観点								
☑ 態度の観点	演習において主体的に不明点を質問・解決しながら課題に取り組む							
☑ 技能・表現の観点	診療行為の入力やレセプトの作成ができる							
授業計画（全体）								
授業の前半（1～4）に日医標準レセプトソフトの操作の基本知識を身につけます。保険証とカルテを正確に読み取り、ソフトに入力を行えるように異なる診療内容で演習を行います。最終授業では学生各自が正確な入力を行えるように指導をしていきます。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	日医標準レセプトソフト（ORCA）の基本的な使い方について（患者登録、診療入力）							
3～4	日医標準レセプトソフト（ORCA）の基本的な使い方について（会計、レセプト作成）							
5～6	入力演習（院内・院外処方）							
7～8	入力演習（検査）							
9～10	入力演習（画像）							
11～12	電子カルテ①							
13～14	入力演習（保険切替え）							
15～16	入力演習（酸素加算）							
17～18	入力演習（時間外等加算）							
19～20	電子カルテ②							
21～22	入力演習							
23～24	入力演習							
25～26	レセプト作成							
27～28	レセプト作成							
29～30	期末試験							
成績評価方法								
1 小テスト								
2 定期試験								
3 授業態度								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				○		80	秀、S（4）：90点以上
小テスト					○		10	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度				○			10	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習	○	○					評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	岡屋 ちひろ		実務経験紹介					

科目名	パーソナルスキルⅠ	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年次			
受講条件		開設時期	1前	教員実務経験対象	-			
授業概要 （目的、 目標とする資格・検定 等）	コミュニケーションの基礎（傾聴・発声・対話）を学び、身につけていくことで、他者との関係性構築や連携を円滑にしていける力を養成する。							
授業の一般目標	対話をするものの抵抗感をなくし、主体性・協調性を高める							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	調剤事務講座テキスト1、資料ブック							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	対話に必要な傾聴・発声・非言語などの基礎理解							
☑ 思考・判断の観点	対話を通じた相互理解ができる							
☑ 関心・意欲の観点	積極的に自己表現をし他者へ伝える							
☑ 態度の観点	傾聴の姿勢、他者への共感・受容の姿勢を意識できる							
☑ 技能・表現の観点	自己表現と他者理解のための対話スキル取得							
授業計画（全体）								
コミュニケーションの基礎・応用を学び、自己表現ができるように演習を行う。また、対話を通して他者理解・自己制御をすることで、社会において必要な関係構築の為のコミュニケーション技能を身につけていく。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	イントロダクション							
3～5	コミュニケーション(聴く・話す) 基礎							
6～8	コミュニケーション(聴く・話す) 応用							
8～9	非言語コミュニケーション							
10～15	自己表現①							
16～20	自己表現②							
20～25	自己表現③							
26～28	他者理解①							
29～30	期末試験							
成績評価方法								
1 グループワーク演習 2 授業態度 3 提出物 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S（4）：90点以上
課題提出							評価なし	優、A（3）：80点以上
レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度		○	◎	○			60	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習	○				◎		40	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	宮本 朱音			実務経験紹介				

科目名	業界・職種研究	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年次			
受講条件		開設時期	1前	教員実務経験対象	-			
授業概要 （目的、 目標とする資格・検定 等）	医療業界の仕事にはどのようなものがあるかまずは全体像を把握し、各医療機関（総合病院、クリニック、調剤事務、歯科等）ごとの違いを理解する。 授業の中では実際に医療現場で働いている方をゲストスピーカーとしてお招きし、実務におけるやりがい、苦労等を学ぶ。 今後インターンシップや就職活動をしていく中で自ら選択ができるようにすることが目的である。							
授業の一般目標	各種医療機関（総合病院、クリニック、調剤事務、歯科等）の業務の違いが説明できるようになる。 違いが分かったうえで、自分に合った就職先選びができる。							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	医療事務実習テキスト							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	医療従事者としての基本的なマナー・ルールの理解							
☑ 思考・判断の観点	医療従事者として常識的な行動・言動を習得する							
☑ 関心・意欲の観点	物事に積極的に取り組む意欲を養う							
☑ 態度の観点	医療従事者としてふさわしい知識・言動・身だしなみを身につける							
☑ 技能・表現の観点	医療従事者として正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める							
授業計画（全体）								
「はたらく」ことへの関心を持つため個々に考える時間を十分に与え、言語化することで明確化する グループワークを通じ他者の意見も参考に職業に向き合う								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	オリエンテーション							
3～4	働くことの意義と社会人基礎力							
5～6	自己理解①							
7～8	自己理解②							
9～10	自己PRの作成							
11～12	仕事理解(医療事務の仕事とは)							
13～14	求人票の見方と条件の整理							
15～18	履歴書作成から見る自己理解							
19～20	社会保険・知っておきたい労働法							
21～22	ISに向けての心構え							
23～24	医療機関研究							
25～26	業界研究①医療機関の説明 先輩との意見交換							
27～28	業界研究②医療機関の説明 先輩との意見交換							
29～30	講義内容まとめレポート作成							
成績評価方法								
1 レポート								
2 課題								
3 演習、発表								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート	◎		◎	◎	◎		80	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
授業内課題			◎	◎			20	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格要件	（ ）内はGPA点数
担当教員	岡屋 ちひろ 他			実務経験紹介				

科目名	インターンシップ			単位数	1	科目コード		
授業形態	実習			時間数	30	開設期	1年次	
受講条件				開設時期	1 後	教員実務経験対象	-	
授業概要 (目的、 目標とする資格・検定 等)	実際のビジネスの世界を体験し、働くことの厳しさと、これまで学んできたことを活かす楽しさを実感する。							
授業の一般目標	現場での実習体験を通じ、自分の適性を確認できるようにする。働くことの意味と厳しさ、楽しさを体感し、自分の就職活動の幅を広げる。							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点	実際の現場にて学んだことを活かすことが出来る							
☒ 思考・判断の観点	実際の現場を経験し仕事の流れを知る							
☒ 関心・意欲の観点	現場実習にて業界への関心を高める							
☒ 態度の観点	積極的に参加できる							
☒ 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める							
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等				授業外学習の指示等		授業の記録	
1～30	医療機関でのインターンシップ							
成績評価方法								
1 企業実習評価報告書により評価								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
報告書	◎	◎	◎	◎	◎		100	秀、S（4）：90点以上
小テスト							なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							なし	良、B（2）：70点以上
授業態度							なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							なし	不可、E（0）：59点未満
演習							なし	未修得、履修放棄、F
出席							なし	（ ）内はGPA点数
担当教員	各医療機関			実務経験紹介				

科目名	ビジネスマナーⅢ		単位数	1	科目コード			
授業形態	演習		時間数	30	開設期	2年次		
受講条件			開設時期	2 前	教員実務経験対象	有		
授業概要 （目的、目標とする資格・検定等）	・来客、訪問のマナーを実践練習を通して習得すべく指導を行います。 ・冠婚葬祭や食事のマナー、ビジネス文書、個人情報保護法についての基礎を指導します。							
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上でのビジネスマナー・社会常識を習得する							
受講条件								
事前学習について （テキスト・参考書等）	教本（実践ビジネスマナー）、名刺、湯飲み、茶托、お盆、カップ、ソーサー、割り箸等							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点 社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解								
☑ 思考・判断の観点 社会人として常識的な行動・言動を習得する								
☑ 関心・意欲の観点 物事に積極的に取り組む意欲を養う								
☑ 態度の観点 社会人としてふさわしい知識・言動・身だしなみを身につける								
☑ 技能・表現の観点 正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める								
授業計画（全体）								
教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを織り交ぜて授業を行います。 名刺交換の仕方や、応接室や廊下、エレベーターを使用してのロールプレイングも実施します。 社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導していきます。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	来客応対 1, 2							
3～4	来客応対 ロールプレイング1							
5～6	来客応対 4, ロールプレイング2							
7～8	来客応対 5, ケーススタディ1							
9～10	来客応対 6							
11～12	来客応対 7, 9, 10							
13～14	来客応対 8, ケーススタディ2							
15～16	訪問のマナー1, ロールプレイング6							
17～18	訪問のマナー2							
19～20	訪問のマナー ロールプレイング7、名刺							
21～22	訪問のマナー3, 資料編3							
23～24	クレーム対応							
25～26	ビジネス文書							
27～28	情報セキュリティ							
29～30	後期試験実施							
成績評価方法								
1 期末試験（筆記）と出席率								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					40	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	江見 恵子			実務経験紹介	A型NTTユーザ協会テレコミュニケーション、講師、山口県電話応対コンクール 審査委員			

科目名	電話対応Ⅲ	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	2年次			
受講条件		開設時期	2 前	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	日本電信電話ユーザ協会主催 電話応対コンクールに取り組み、電話応対の技能を高め、一般の方と電話応対のレベルをはかる。☑							
授業の一般目標	電話応対コンクール 上位入賞							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点	知識を身につける							
□ 思考・判断の観点	状況に応じて応対できるための思考がある。							
□ 関心・意欲の観点	コンクールの必要性を理解し、関心を持って臨んでいる。							
□ 態度の観点	社会人として好ましい電話応対ができるよう積極的な姿勢を示している。							
□ 技能・表現の観点	言葉の選び方、話す早さ、声の高さが電話応対において好ましい表現ができている。							
授業計画(全体)								
電話応対コンクールの課題に応じて個人ごとでスクリプトを作成し、電話応対コンクール入賞を目指す								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	会話の特性を知る		宿題		P 1			
3～4	声の印象チェック・印象を変える		宿題		P 2～4			
5～6	電話応対コンクールスクリプト作成		宿題、模擬応対機		P 2～4			
7～8	電話応対コンクールスクリプト作成		宿題		P 5～8			
9～10	電話応対コンクールスクリプト作成		宿題		P 5～8			
11～12	電話応対コンクールスクリプト作成		宿題、模擬応対機		P 9～1 0			
13～14	実技練習(ロールプレイング)		宿題、模擬応対機		P 1 1			
15～16	実技練習(ロールプレイング)		宿題、模擬応対機		P 1 2			
17～18	実技練習(ロールプレイング)		宿題、模擬応対機		P 1 3			
19～20	実技練習(ロールプレイング)		宿題、模擬応対機		P 1 4～1 5			
21～22	実技練習(ロールプレイング)		宿題、模擬応対機					
23～24	実技練習(ロールプレイング)		宿題、模擬応対機					
25～26	実技練習(ロールプレイング)		宿題、模擬応対機					
27～28	電話応対コンクール 練習							
29～30	模擬テスト							
成績評価方法								
1. 電話応対校内コンクール								
2. 授業出席状況								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		50	秀、S(4):90点以上
小テスト	◎	○					40	優、A(3):80点以上
宿題授業外レポート							30	良、B(2):70点以上
授業態度							評価なし	可、C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E(0):59点未満
演習					○		20	未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	黒瀬 広子		実務経験紹介		A型NTTユーザ協会テレコミュニケーション、講師、山口県電話応対コンクール 審査委員			

科目名	医療コミュニケーションⅢ		単位数	1	科目コード			
授業形態	演習		時間数	30	開設期	2年次		
受講条件			開設時期	2 前	教員実務経験対象	有		
授 業 概 要 (目的、目標とする資格・検定等)	・社会人、医療業務に携わるスタッフとして必要な電話応対の習得を指導します。 ・敬語、言葉遣い、ビジネス用語について具体的かつ専門的な事例を交えて指導します。 ・医療事務の業務で即戦力となる電話応対の基礎を、模擬応対機を使用して実践を交えて指導します。 ・電話応対に不可欠な発声練習を毎回行い、好印象を与える声づくりを行います。							
授業の一般目標	医療現場の電話応対の基礎理解習することができる。							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	・オリジナルテキスト「医療現場での電話応対」 ・配布プリント (テキスト以外のロープレ台本など)							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	医療現場の電話応対の基礎理解習することができる。							
☐ 思考・判断の観点	内容を聞いた上で予約・変更・キャンセル対応ができる。							
☐ 関心・意欲の観点	総合的な電話応対力の習得ができる。							
☐ 態度の観点	正しい言葉遣いとホスピタリティの実践ができる。							
☐ 技能・表現の観点	調剤薬局・業者・他医療機関との電話対応ができる。							
授業計画 (全体)								
1年次に習得した電話応対技能を軸として、医療業務に携わるスタッフとして実践的な電話応対を指導します。 並行して電話応対に不可欠な発声練習を毎回行い、好印象を与える声づくりを行います。 対は模擬応対機を使用し、医療事務の実務に即した応対を指導します。 社会人として即戦力となる電話応対を習得すべく指導していきます。								
電話応								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	医療事務の電話応対・発声練習							
3～4	電話応対の種類①・発声練習							
5～6	電話応対の種類②・発声練習							
7～8	またかかりたい医療機関であるために①・発声練習							
9～10	またかかりたい医療機関であるために②・発声練習							
11～12	電話応対の目的・発声練習							
13～14	電話応対の事例①・発声練習							
15～16	電話応対の事例②・発声練習							
17～18	電話応対の事例③・発声練習							
19～20	実践応対①・発声練習							
21～22	実践応対②・発声練習							
23～24	実践応対③・発声練習							
25～26	実践応対④・発声練習							
27～28	実践応対⑤・発声練習							
29～30	前期試験							
成績評価方法								
1 試験 2 態度 3 出欠 4 提出物								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					70	秀、S (4) : 90点以上
課題提出	◎	○					20	優、A (3) : 80点以上
レポート							評価なし	良、B (2) : 70点以上
授業態度			◎	○			10	可、C (1) : 60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E (0) : 59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席								() 内はGPA点数
担当教員	黒瀬 広子		実務経験紹介	https://urbangrace.jp/				

科目名	秘書実務Ⅱ	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	2年次			
受講条件		開設時期	2 前	教員実務経験対象	有			
授 業 概 要 (目的、目標とする資格・検定等)	・秘書として必要な資質、知識の習得を指導します。 ・話し方、聞き方、電話応対等、秘書として必要な技能について具体的かつ専門的な事例を交えて指導します。 ・秘書検定3級受験で習得した知識を礎に、2級合格を目指して指導します。 ・授業や宿題で過去問題に積極的に取り組み、理解度を深めて試験に臨む力をつけるべく指導します。							
授業の一般目標	・秘書検定2級合格を目指します。							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	教本（秘書検定2級クイックマスター、秘書検定2級問題集）、過去問題、宿題プリント							
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点	秘書検定2級の知識を習得する							
□ 思考・判断の観点	秘書としての資質や心構え、業務知識について習得する							
□ 関心・意欲の観点	秘書の業務に関心を持ち、積極的に取り組む意欲を養う							
□ 態度の観点	秘書としてふさわしい言葉遣い・心遣いや態度を身につける							
□ 技能・表現の観点	秘書に求められる正しい言葉遣い・心遣い・態度等、コミュニケーション能力を高める							
授業計画（全体）								
1年次に習得した秘書検定3級の知識を軸として、2級合格に向けて指導します。 秘書としてふさわしい資質や知識、マナー、技能を指導し、社会人として役立つ能力を身につける授業を行います。 授業内や宿題で過去問題に積極的に取り組んで理解度を深め、2級合格への知識習得を指導します。								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～4	第1章 必要とされる資質		宿題		P8～25			
5～8	第2章 職務知識		宿題		P30～45			
9～12	第3章 一般知識①企業と経営		宿題		P50～55			
13～16	第3章 一般知識②企業の活動・社会常識		宿題		P60～83			
17～22	第4章 マナー・接遇①人間関係と話し方・聞き方		宿題		P88～101			
23～26	第4章 マナー・接遇②話し方・聞き方の応用		宿題		P106～119			
27～32	第4章 マナー・接遇③電話応対と接遇		宿題		P124～137			
33～36	第4章 マナー・接遇④交際		宿題		P142～153			
37～42	第5章 技能①会議と秘書		宿題		P160～169			
43～46	第5章 技能②ビジネス文書の作成		宿題		P174～187			
47～50	第5章 技能③文書の取り扱い		宿題		P192～197			
51～54	第5章 技能④文書・資料管理		宿題		P202～213			
55～56	第5章 技能④日程管理とオフィス管理		宿題		P218～227			
57～58	総復習							
59～60	前期試験							
成績評価方法								
1 試験（筆記） 2 態度 3 出欠 4 提出物								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○					40	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度			○	○			10	可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員	池田 美和子		実務経験紹介			https://urbangrace.jp/		

科目名	介護事務	単位数	3	科目コード	
授業形態	講義	時間数	90	開設期	2年次
受講条件		開設時期	2 前	教員実務経験対象	-
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	介護保険制度がわかる 介護認定と介護サービスについて理解できる 請求の流れと利用者負担がわか 介護報酬の算定とレセプト作成ができる				
授業の一般目標	介護施設等における受付業務、介護業務に関する知識を有することができる				
受講条件					
事前学習について (テキスト・参考書等)	介護事務講座1、2、資料ブック、模擬問題集				
授業の到達目標					
□ 知識・理解の観点		介護の基礎知識が身につき、診療報酬点数算定ができる			
□ 思考・判断の観点		患者様に寄り添い行動できる、診療報酬明細書の点検や医事システムにおける保険請求ができる			
□ 関心・意欲の観点		日常生活の中で医療分野（介護）の受付から診察、会計、処方箋受け取りなど一連の流れがより一層、関心を持つようになる			
□ 態度の観点		患者接遇（医療機関従事者として必要な資質、ふさわしい身だしなみ、言葉遣いを身に付けることができる）			
□ 技能・表現の観点		診療報酬明細書の点検や医事システムにおける保険請求業務ができる			
授業計画（全体）					

科目名	医療事務（歯科）Ⅰ	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	2年次			
受講条件		開設時期	2 前	教員実務経験対象	-			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	合格者に付与する称号【メディカル クラーク歯科】 医療機関で事務運営に必要な、診療報酬請求事務業務や窓口業務など、「歯科医療事務職」として求められる能力を備えていることを証明する資格です。この科目は「歯科医療事務職」として就職する際に、基礎となる科目となります。しっかり出席して身に付けましょう。							
授業の一般目標	医療機関等における受付業務、診療報酬請求事務業務に関する知識を有することができる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	歯科テキスト1～5、模擬問題集							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	歯科の基礎知識が身につき、診療報酬点数算定ができる							
☑ 思考・判断の観点	患者様に寄り添い行動できる、診療報酬明細書の点検や医事システムにおける保険請求ができる							
☑ 関心・意欲の観点	日常生活の中で医療分野（歯科）の受付から診察、会計、処方箋受け取りなど一連の流れがより一層、関心を持つようになる							
☑ 態度の観点	患者接遇（医療機関従事者として必要な資質、ふさわしい身だしなみ、言葉遣いを身に付けることができる）							
☑ 技能・表現の観点	診療報酬明細書の点検や保険請求業務ができる							
授業計画（全体）								
座学を中心に授業をします。接遇、学科、レセプト点検など3部門に分かれて何度も繰り返し指導していきます。 「日本事務技能審査試験」（称号：メディカルクラーク歯科）に合格できるように、試験の傾向と対策踏まえ学習していきます。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～4	テキストの確認、医科歯科の違いと検定試験の説明							
5～6	カルテ、レセプト作成の違いの確認							
7～8	歯科の基礎知識、口腔の解剖							
9～10	歯の解剖、歯の表示の仕方							
11～12	診療報酬点数算定、初診料、再診料							
13～14	医学管理等、在宅医療							
15～16	授業							
17～18	画像診断							
19～22	麻酔							
23～26	検査							
27～28	歯冠修復							
29～36	初期う蝕の治療							
37～40	歯髄炎の治療							
41～44	感染根幹の治療							
45～48	その他の治療							
49～50	歯周疾患の治療							
51～56	口腔粘膜等の治療							
57～58	欠損補綴							
59～60	期末試験							
成績評価方法								
1 授業の中で小テスト（接遇、筆記、レセプト点検）を行う 2 期末テスト（実技・筆記）を行う 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
課題	◎	○					10	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○			○		10	優、A（3）：80点以上
定期試験	◎	○			○		80	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	岡屋 ちひろ			実務経験紹介				

科目名	医療事務（歯科）Ⅱ	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	2年次			
受講条件		開設時期	2後	教員実務経験対象	-			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	合格者に付与する称号【メディカル クラーク歯科】 医療機関で事務運営に必要な、診療報酬請求事務業務や窓口業務など、「歯科医療事務職」として求められる能力を備えていることを証明する資格です。この科目は「歯科医療事務職」として就職する際に、基礎となる科目となります。しっかり出席して身に付けましょう。							
授業の一般目標	医療機関等における受付業務、診療報酬請求事務業務に関する知識を有することができる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	歯科テキスト1～5、模擬問題集							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	歯科の基礎知識が身につき、診療報酬点数算定ができる							
☑ 思考・判断の観点	患者様に寄り添い行動できる、診療報酬明細書の点検や医事システムにおける保険請求ができる							
☑ 関心・意欲の観点	日常生活の中で医療分野（歯科）の受付から診察、会計、処方箋受け取りなど一連の流れがより一層、関心を持つようになる							
☑ 態度の観点	患者接遇（医療機関従事者として必要な資質、ふさわしい身だしなみ、言葉遣いを身に付けることができる）							
☑ 技能・表現の観点	診療報酬明細書の点検や保険請求業務ができる							
授業計画（全体）								
座学を中心に授業をします。接遇、学科、レセプト点検など3部門に分かれて何度も繰り返し指導していきます。 「日本事務技能審査試験」（称号：メディカルクラーク歯科）に合格できるように、試験の傾向と対策踏まえ学習していきます。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等	授業の記録			
1～4	実技1対策(応対)							
5～6	実技1対策(応対)							
7～8	実技1対策(応対)							
9～10	実技1対策(応対)							
11～14	レセプト作成1							
15～18	レセプト作成2							
19～22	レセプト作成3							
23～26	レセプト作成4							
27～30	レセプト作成5							
31～34	レセプト作成6							
35～38	模擬試験							
39～42	模擬試験							
43～46	模擬試験							
49～50	模擬試験							
51～56	模擬試験							
57～58	模擬試験							
59～60	期末試験							
成績評価方法								
1 授業の中で小テスト（接遇、筆記、レセプト点検）を行う 2 期末テスト（実技・筆記）を行う 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
課題	◎	○					10	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○			○		10	優、A（3）：80点以上
定期試験	◎	○			○		80	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	岡屋 ちひろ			実務経験紹介				

科目名	ドクターズクラーク	単位数	4	科目コード				
授業形態	講義	時間数	120	開設期	2年次			
受講条件		開設時期	2 前	教員実務経験対象	-			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	医師事務作業補助者の役割・心構えを理解し、医師や病院スタッフとのコミュニケーションの方法などを身に着ける。様々な診療記録を理解して医師の事務作業を代行・補佐できる専門的な知識とスキルを学びます。医師事務作業補助技能認定試験（ドクターズクラーク）の資格取得を目指します。							
授業の一般目標	医師事務作業補助者としての能力を身に着け、医療機関で医師の事務作業補助ができる。							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	メディカルドクターズクラーク講座テキスト1～5 問題集							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	医師事務作業補助者に必要な知識を身に着けることができる。							
☑ 思考・判断の観点	書類作成において診断結果等を適切な文章にすることができる。							
☑ 関心・意欲の観点	医師事務作業補助者の必要性を自身で考え理解することができる。							
☑ 態度の観点	医師や病院スタッフとのコミュニケーションを想定した適切な言葉使いを身に着けることができる。							
☑ 技能・表現の観点	カルテや検査結果等を正確に読み取り、書類作成ができる。							
授業計画（全体）								
講義の中で基本的な書類の作成の仕方を取り上げ、書類作成の基礎の定着を図ります。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	医師事務作業補助者について							
3～10	医療関連法規について							
11～20	薬学一般について							
21～26	医学一般について							
27～32	診療録の記載・電子カルテについて							
33～36	個人情報保護法について							
37, 38	診断書・証明書について							
39, 40	警察用診断書・健康診断書・学校感染症証明書							
41, 42	保険会社提出用の入院・手術証明書							
43, 44	出生証明書							
45, 46	傷病手当金請求書							
47, 48	死亡診断書・検案書							
49, 50	診療情報提供書							
51, 52	医療要否意見書							
53, 54	休業補償給付支給請求書							
55, 56	自動車損害賠償責任保険診断書							
57, 58	治療用器具証明書							
59, 60	主治医意見書（介護）							
61～64	技能認定試験対策							
65～74	データ入力演習							
55～64	診断書作成(電子カルテ)							
65～78	電子カルテ入力演習							
79～86	練習問題 1							
87～94	練習問題 2							
95～102	練習問題 3							
103～106	模擬試験A							
107～110	模擬試験B							
111～114	模擬試験C							
115～118	模擬試験D							
119, 120	期末試験							
成績評価方法								
1 定期試験80％＋授業態度10％＋授業外レポート（課題）10％を合わせて評価する。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○	○				80%	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート	○	○	○	○			10%	良、B（2）：70点以上
授業態度			○	○			10%	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格要件	（ ）内はGPA点数
担当教員	岡屋 ちひろ			実務経験紹介				

科目名	医療事務コンピュータⅡ		単位数	1	科目コード			
授業形態	演習		時間数	30	開設期	2年次		
受講条件			開設時期	2 前	教員実務経験対象	-		
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	病院、診療所で必要とされる医療事務用のソフトの操作方法を身につける。会計時に必要な書類や金額の確認など患者対応に必要な知識を学ぶ。							
授業の一般目標	1．保険証を理解し、カルテの上書き部分の入力ができる 2．診療行為の入力や会計についての操作ができる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	医療事務テキスト							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点	保険証を読み取り、受付ができる							
☐ 思考・判断の観点								
☐ 関心・意欲の観点								
☒ 態度の観点	演習において主体的に不明点を質問・解決しながら課題に取り組む							
☒ 技能・表現の観点	診療行為の入力やレセプトの作成ができる							
授業計画（全体）								
保険証とカルテを正確に読み取り、ソフトに入力を行えるように異なる診療内容で演習を行います。最終授業では学生各自が正確な入力を行えるように指導をしていきます。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	入力演習①							
3～4	入力演習②							
5～6	電子カルテ入力（診断書作成）①							
7～8	電子カルテ入力（紹介状作成）①							
9～10	入力演習③							
11～12	入力演習④							
13～14	電子カルテ入力（診断書作成）②							
15～16	電子カルテ入力（紹介状作成）②							
17～18	入力演習⑤（予約業務）							
19～20	入力演習⑥							
21～22	入力演習⑦							
23～24	入力演習⑧							
25～26	電子カルテ入力（診断書作成）③							
27～28	電子カルテ入力（紹介状）③							
29～30	期末試験							
成績評価方法								
定期試験70％＋授業態度15％＋演習15％を合わせて評価する。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				○		70	秀、S（4）：90点以上
小テスト					○		評価なし	優、A（3）：80点以上
定期試験							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度				○			15	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習	○	○					15	未修得、履修放棄、F
出席							欠格要件	（ ）内はGPA点数
担当教員	岡屋 ちひろ			実務経験紹介				

科目名	医療事務総合演習Ⅰ		単位数	4	科目コード			
授業形態	演習		時間数	120	開設期	2年次		
受講条件			開設時期	2 後	教員実務経験対象	-		
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	目標資格を設定し、各自課題に取り組む。							
授業の一般目標	資格検定試験に合格できるようにする。							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	介護事務テキスト1、2、資料ブック、過去問題集							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点	各検定試験の合格基準に沿い、問題を解くことができる							
☒ 思考・判断の観点	各検定試験の合格基準に沿い、問題を解くことができる							
☒ 関心・意欲の観点	各業界で対応できる基礎知識があり、働く意欲関心がもてる							
☒ 態度の観点								
☒ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
座学を中心に授業をします。目標となる検定試験を定め、合格するように準備する。、試験の傾向と対策踏まえ学習していきます。 ※個々の能力に応じ、受験級もしくは受験対策など個別に指導します。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等			授業の記録	
1～2	目標資格の設定							
3～116	模擬問題、模擬試験を中心に問題演習							
117～120	確認テスト							
成績評価方法								
1 授業の中で小テストを行う 2 期末テストを行う 3 検定試験に合格できる 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎						30	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					10	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート	◎	○					30	良、B（2）：70点以上
授業態度							30	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	岡屋 ちひろ			実務経験紹介				

科目名	医療事務総合演習Ⅱ		単位数	4	科目コード			
授業形態	演習		時間数	120	開設期	2年次		
受講条件			開設時期	2 後	教員実務経験対象	-		
授業概要 （目的、目標とする資格・検定等）	目標資格を設定し、各自課題に取り組む。							
授業の一般目標	資格検定試験に合格できるようにする。							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	各検定試験の合格基準に沿い、問題を解くことができる							
☑ 思考・判断の観点	各検定試験の合格基準に沿い、問題を解くことができる							
☑ 関心・意欲の観点	各業界で対応できる基礎知識があり、働く意欲関心がもてる							
☑ 態度の観点								
☑ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	目標資格の設定							
3～116	模擬問題、模擬試験を中心に問題演習							
117～120	確認テスト							
成績評価方法								
1 授業の中で小テストを行う								
2 期末テストを行う								
3 検定試験に合格できる								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎						30	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					10	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート	◎	○					30	良、B（2）：70点以上
授業態度							30	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	岡屋 ちひろ		実務経験紹介					

科目名	医療事務総合演習Ⅲ	単位数	3	科目コード				
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2年次			
受講条件		開設時期	2 後	教員実務経験対象	-			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	目標資格を設定し、各自課題に取り組む。							
授業の一般目標	資格検定試験に合格できるようにする。							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点	各検定試験の合格基準に沿い、問題を解くことができる							
☒ 思考・判断の観点	各検定試験の合格基準に沿い、問題を解くことができる							
☒ 関心・意欲の観点	各業界で対応できる基礎知識があり、働く意欲関心がもてる							
☒ 態度の観点								
☒ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	目標資格の設定							
3～88	模擬問題、模擬試験を中心に問題演習							
89～90	確認テスト							
成績評価方法								
1 授業の中で小テストを行う								
2 期末テストを行う								
3 検定試験に合格できる								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎						30	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					10	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート	◎	○					30	良、B（2）：70点以上
授業態度				◎			30	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	岡屋 ちひろ		実務経験紹介					

科目名	医療事務総合演習Ⅳ	単位数	3	科目コード				
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2年次			
受講条件		開設時期	2 後	教員実務経験対象	-			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	目標資格を設定し、各自課題に取り組む。							
授業の一般目標	資格検定試験に合格できるようにする。							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点	各検定試験の合格基準に沿い、問題を解くことができる							
☒ 思考・判断の観点	各検定試験の合格基準に沿い、問題を解くことができる							
☒ 関心・意欲の観点	各業界で対応できる基礎知識があり、働く意欲関心がもてる							
☒ 態度の観点								
☒ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等			授業の記録			
1～2	目標資格の設定							
3～56	模擬問題、模擬試験を中心に問題演習							
57～60	確認テスト							
成績評価方法								
1 授業の中で小テストを行う								
2 期末テストを行う								
3 検定試験に合格できる								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎						30	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					10	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート	◎	○					30	良、B（2）：70点以上
授業態度							30	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	岡屋 ちひろ		実務経験紹介					